

佐賀県出身の美術家



いけだ まなぶ

池田学 ~圧巻の細密世界~

池田学（1973-）は多久市出身の画家で、ペンやインク、透明水彩^{すいさい}で細密な大作^{おほび}を描きます。代表作《興亡史^{こうぼうし}》（2006年、200×200cm）では、一枚の中に自然や文明、歴史が複雑に重なり、目で追いきれないほどの世界が広がります。一本一本の線^{ていぬい}を丁寧^{まが}に描き、何日も何月もかけて作品を完成させる姿勢から、あきらめず粘り強く、物事に挑戦^{ちようせん}する大切さを学べます。